



国際連合主催「軍縮ポスター国際デザイン・コンテスト」出品作 小川 忠彦

1981・6 420%×594% シルクスクリーン

世界の軍事力増強が著しい昨今、戦争の恐怖を想起させる土壌が日に日に広がるように思われる。一方、このような世界を憂い、軍縮、軍備撤廃を念ずるのも、同じく世界の人々に共通するところであり、この矛盾の中に平和が埋没してしまいそうだ。軍事力の増大に人間の強欲で愚かな一面を見る思いがする。戦争は天に唾するごとく、勝者も敗者もなく地球そのものの自滅を意味する。

この作品は、これらの思いを視覚化したもので、地球を頭がい骨に見たてた多義図形として表現した。国籍や年齢を越えて、国際的に広く、わかりやすく核戦争の恐怖を訴え、真の平和とは何かを追求したものである。